

当社単独決算における経常利益・四半期純利益の変動要因

○ 平成31年3月期第2四半期実績（対前年同期比較）

(億円)

	31年3月期第2四半期 実績 ①	30年3月期第2四半期 実績 ②	増減 ①-②
売上高	3,381	3,296	85
営業利益	221	99	121
経常利益	166	30	136
四半期純利益	91	39	52

【経常利益の変動要因】

(億円)

好転要因	悪化要因
<ul style="list-style-type: none"> ■ 水力発電量の増加による燃料費の減少 120 ■ 経営基盤強化による効率化 (資機材調達コストの低減、 創意工夫による工事工程の見直し など) 49 ■ 燃料費調整制度の影響による 売上高の増加 103 ■ 販売電力量の減少による燃料費の減少 56 ■ 支払利息の減少（金利の低下） 12 ■ その他 34 〔・発電設備に係る定期検査規模の差 ・固定資産除却費の減少 など〕 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年北海道胆振東部 地震による影響 47 〔・節電にご協力頂いたこと等による収入の減少など 9 ・石油火力発電所等の焚き増しなど 38〕 ■ 燃料価格の上昇による燃料費の増加 124 ■ 販売電力量の減少による売上高の減少 67
差し引き 136億円 好転	

※「販売電力量の減少による燃料費の減少」および「販売電力量の減少による売上高の減少」は、平成30年北海道胆振東部地震による影響を除く。

【四半期純利益の変動要因】

(億円)

好転要因	悪化要因
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経常利益の好転 136 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人税等の増加 16 ■ 渴水準備金の引当・取り崩し 24 ■ 特別損失の計上 42 (平成30年北海道胆振東部地震による 設備の復旧費用等)
差し引き 52億円 好転	